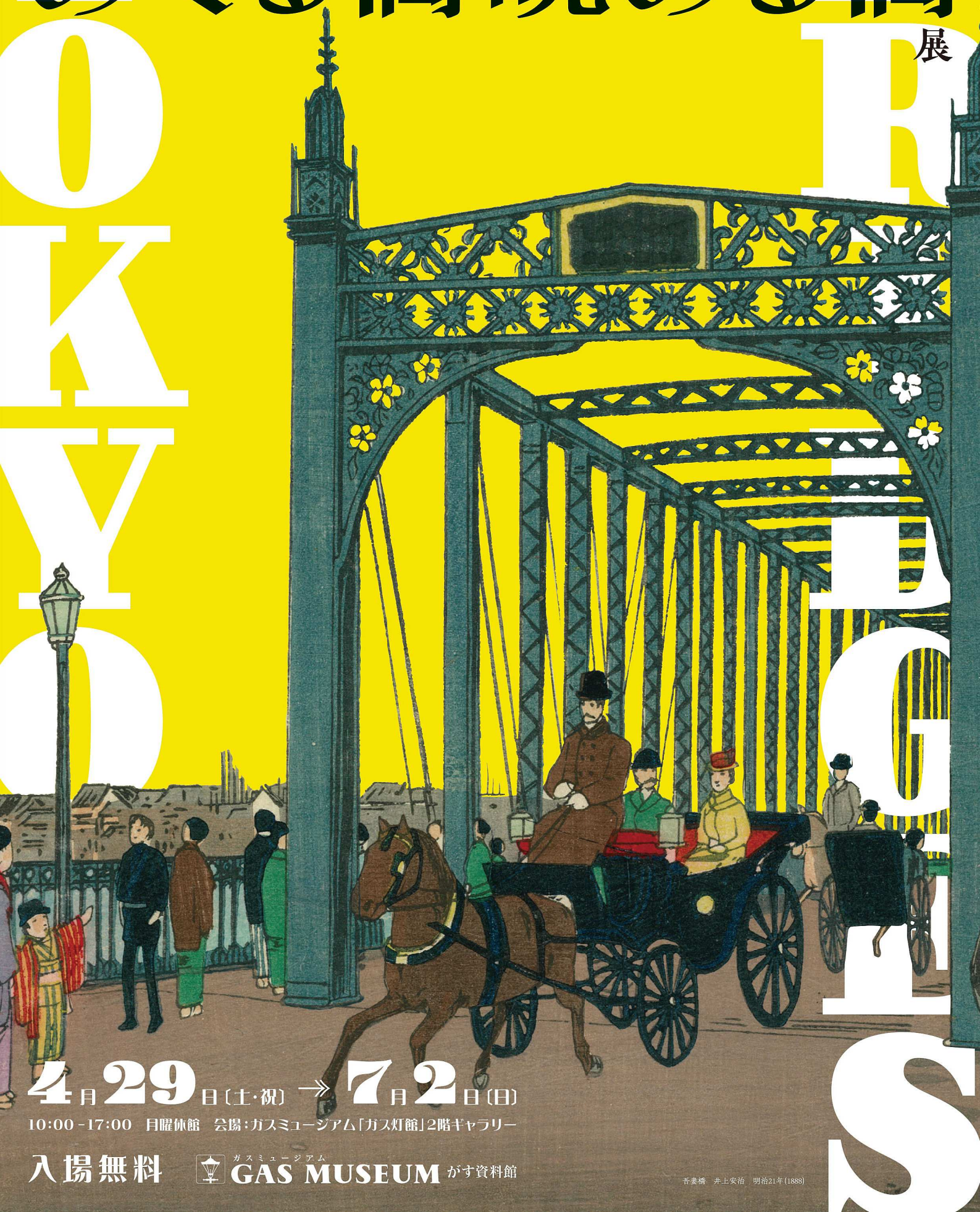


明治東京のシンボル

TOKYO GAS NETWORK

めぐる橋 眺める橋

展



4月29日(土・祝) → 7月2日(日)

10:00 - 17:00 月曜休館 会場: ガスミュージアム「ガス灯館」2階ギャラリー

入場無料

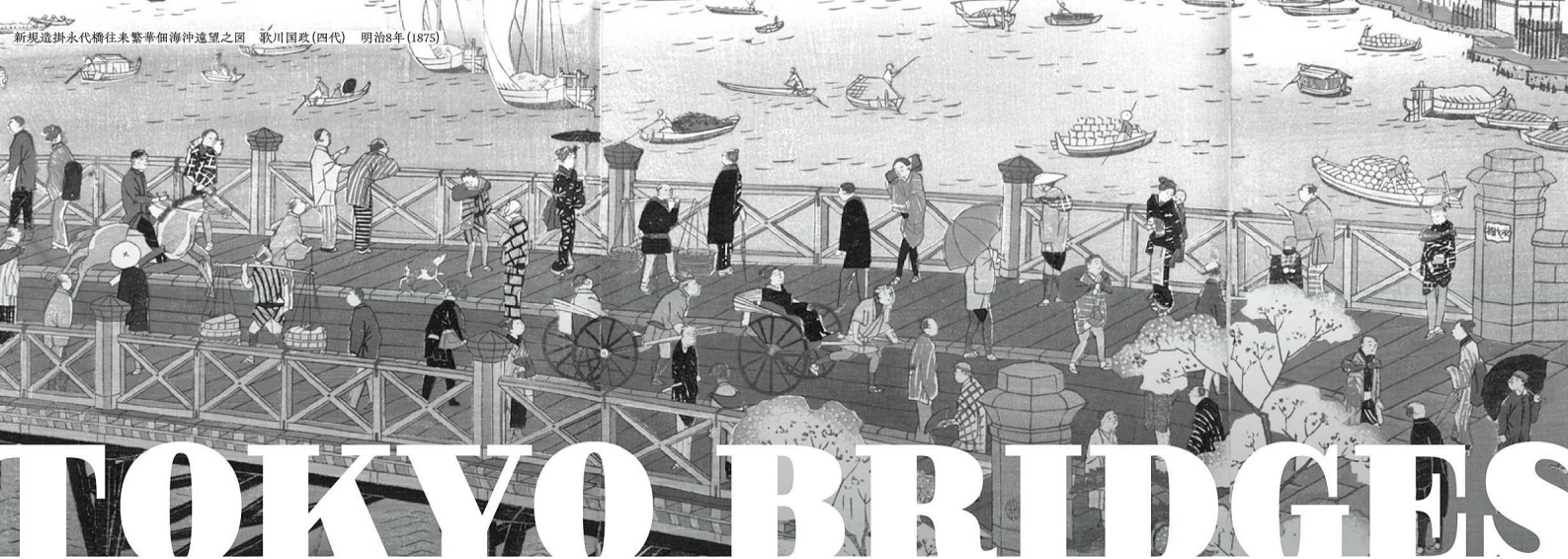


ガスミュージアム

GAS MUSEUM

がす資料館

吾妻橋 井上安治 明治21年(1888)



4月29日(土・祝) → 7月2日(日)

明治東京のシンボル

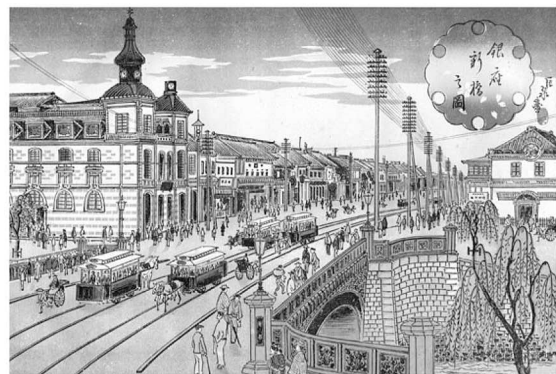
めぐる橋 眺める橋 展

文明開化を迎えた明治の東京。西洋風の建築物が次々と建てられ、西洋風の橋も多く誕生し、一気に近代的な街へと変化を遂げていきます。

江戸時代から交通の要衝であった街道筋の日本橋や浅草橋、万世橋、永代橋が、西洋の技術を取り入れて次々に架け替えられたのを皮切りに、吾妻橋や両国橋、江戸橋、海運橋、常磐橋、新橋、蓬萊橋など多くの橋が、東京を新たな時代にふさわしい都市として整備するために、続々と架けられていきました。

これら東京の街を縦横につないだ橋により、人や文物が自由に移動できるようになり、東京は活発な経済や新しい生活様式をおう歌できる近代都市として活気づいていきます。

金融の街をつなぐ橋や社寺詣でに向かう参道の橋、駅と外国人居留地をつなぐ橋など、それぞれが新たな時代を往き来する架け橋となりました。



東京名所 銀座新橋乃図 巨泉 明治31年(1898)



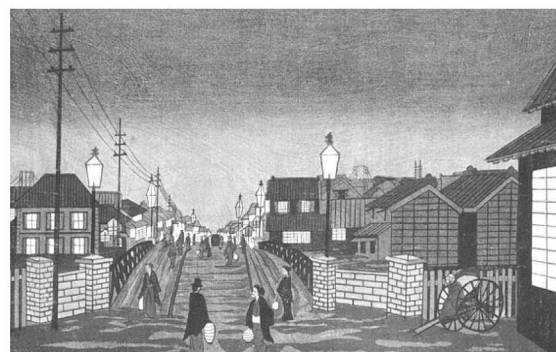
浅草橋夕景 井上安治 明治13年(1880)



東京名所 浅草吾妻橋之図 楊斎延一 明治23年(1890)



東京名勝会 宮城御出門 二重橋ノ図 歌川国利 明治22年(1889)



日本橋夜景 小倉柳村 明治13年(1880)

ガスミュージアム **GAS MUSEUM** がす資料館

〒187-0001 東京都小平市大沼町4-31-25 TEL 042-342-1715

開館時間 10:00-17:00 月曜休館 入場無料



バス 西武池袋線 東久留米駅西口より[武21] 錦城高校前経由
…武蔵小金井駅行き西武バス「ガスミュージアム入口」
バス停下車徒歩約3分
西武新宿線 花小金井駅北口「花小金井駅入口」バス停より、
またはJR中央線 武蔵小金井駅北口より[武21] 錦城高校経由
…東久留米駅西口行き西武バス「ガスミュージアム入口」
バス停下車徒歩約3分
徒歩 西武新宿線 小平駅より徒歩約20分(2km)
車 新青梅街道 滝山交差点角 ※駐車場無料

<https://www.gasmuseum.jp/>